



世界へのプレゼントになろう

例会日：木曜日 12:30~13:30 創立：1951(S.26)/11/15 チャーターN：1952(S.27)/4/15 創立順位：No.68

司会 塩崎(吉) 会場監督 点鐘 本間 会長

ロータリーソング

ゲスト ロータリー米山記念奨学会 武本泰子 氏
 地区ロータリー米山記念奨学会委員長 小柳善裕 氏
 地区ロータリー米山記念奨学会副委員長 田村 進 氏
 // 村中高次郎 氏
 // 柳原春秋 氏

会長挨拶/報告

幹事報告 ■理事会⇒13:30~ HN オータニ高岡 桐の間
 ■射水 RC のメークアップ受付時間変更 18:00~19:00
 ■M・6・7 番合同 TM⇒11/19 割烹田中 18:30~

【理事会報告】

※指名委員承認の件⇒筆頭理事、現次期三役
 指名委員会開催 11/26 11:30~

※新年初例会の件⇒承認

2016/1/7 射水神社 会費 10,000 円

※板橋 RC (台湾) 訪問の件⇒案内送付

※伏木高校 IAC 海外研修参加の件⇒承認

伏木高校 2 年 角地正成さん

※地区大会記念事業の件⇒次回継続協議

【報告】

※クラブ口座借用の件

※カマコン in 高岡「後援」名義使用の件

※夫人旅行の件

※7 月~9 月四半期クラブ会計の件

ニコニコBOX < 9 件 29,000 円 >

小柳地区米山委員長/地区 R 米山記念奨学会委員会の小柳
 です。米山奨学事業に御支援賜り有難うございます。今
 後オレナの御世話よろしく申し上げます。

本間会長/武本泰子様 ようこそ高岡 RC へお越しくださ
 いました。本日はどうぞよろしくお願い致します。

若野君/武本さん本日は遠路お越し頂き有難う御座いま
 す。小柳地区米山委員長、村中、田村、柳原各副委員長、
 地区米山幹部の皆様、お忙しい中誠に有難う御座います。
 感謝致します。

前川君/米山記念奨学会の武本泰子様をお迎えして!!

フェイスブック拝見致しました。昨夜 聞いてはしまし
 たが、誕生日のお祝いメッセージも拝見致しました。

Happy Birthday!!

地区米山委員会から小柳さん、柳原さん、村中さん、田
 村さんにお越し頂きまして。

室崎君/武本さん卓話楽しみにしております。

Happy Birthday!!

山本(毅)君/初心者ですが、16 日に長唄「岸の柳」で国立
 劇場出演しました。

松原君、中村君/去る 13 日 17:00~21:30 と長丁場に亘る
 カマコン高岡イベント開催で、前後にわたって過分な報
 道をして頂いた棚田北日本新聞高岡支社長、大野読売新
 聞北陸支社長はじめ、終了までご参加、ご協力頂いた塩
 崎さん、山田さん、菅野さんの御子息、そして全ての関

係皆様に御礼申し上げます。

鎌倉は、2,200 万人観光集客だけでなく、高岡と同規模
 の人口ながらも、若い起業家、働く若者が集まっており、
 既に鎌倉・古民家と日本橋の 2 拠点居住している 22 才
 若者たちも出始め、今回、2 泊 3 日ツアーで明らかに優
 秀な 15 名男女起業家・市議にお越し頂き、首都圏に通
 用する瑞龍寺他の新たなリピート魅力も教えて頂き、高
 岡にとって「同質の中の安定より異質の中の刺激」の集
 いになったこと、感謝!

藤田君/皆出席祝をいただき有難う御座いました。そして
 ホームクラブの欠席も続きました事お詫び申し上げま
 す。感謝。

鞍野君/名古屋に嫁いだ娘夫婦に女の子(初孫)が生まれま
 した。先週の土日に妻と共に顔を見に名古屋へ行っ
 てきました。早々にジジ、ババぶりを発揮してきました。武
 本泰子様本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願
 いします。次週の例会、欠席します。才高副幹事願
 います。

本日のプログラム

米山記念奨学事業の醍醐味 国際奉仕と人材育成

武本泰子 氏



米山奨学事業は、日本のロータリーの黎
 明期を支えた大先輩たちの手で作られ、
 脈々と受け継がれてきた日本独自の事業
 です。戦後の復興へと向かい始めた当時、
 「二度と戦争の悲劇を繰り返さないた
 めに、国際親善と世界平和に貢献したい」

という、当時の日本のロータリアンたちの強い想いがあり
 ました。

米山奨学事業の使命は「将来、日本と世界とを結ぶ『懸け
 橋』となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理
 解者となる人材を育成すること」です。これは国際奉仕事
 業であり、人材育成事業です。この事業の醍醐味もまた彼
 らの成長にあります。これまでに支援した学生は 123 の国
 と地域から 18000 人を超えています。

あるカウンセラーは言います。「なぜ今米山なのか、なぜ
 反日の留学生に奨学金を与えるのか。それは人を育てるか
 らです。世界に平和の種を蒔いてきたこの事業が、ようや
 く開花しようとしていると実感しています」と。さらに別
 のカウンセラーは言います。「重要なことは、お世話をする
 期間中に、どれだけ心のふれ合いができるかだと思います。
 どこまで対等につきあえるか。奨学生側の理解を求め
 るばかりでなく、我々も奨学生の母国の状況や立場を学ば
 なければ、通じる話も通じません。米山に関わる以上、そ
 の努力は絶対に必要だと思っています。」

米山奨学事業は人材育成事業です。すぐに結果が出るもの
 ではありません。継続することにこそ意味があります。彼
 らを導き、見守り、成長を喜べる国際奉仕事業です。